

## エコセメント事業継続の方針が決まりました

東京たま広域資源循環組合（管理者：東村山市長 渡部 尚。以下「循環組合」という。）が管理する二ツ塚廃棄物広域処分場内（東京都日の出町）では、現在エコセメント化施設が稼働中です。

エコセメント化施設は、多摩地域のリサイクルを推進するため、清掃工場からの焼却灰をセメントの原料として再生利用する施設で、施設稼働から現在に至るまで、受入れた焼却灰を全量エコセメント化してきました。

エコセメント化施設の事業期間は平成18年から20年間（令和7年度末まで）を予定しておりましたが、その後の焼却灰の処理について循環組合と循環組合を組織する多摩地域（25市1町）の自治体で検討を重ねてきた結果、設備の大幅なリニューアル工事を想定した上で事業を継続する方針がまとまりました。今後、関係機関及び地元の皆様へ丁寧に説明しながら詳細な検討を進めてまいります。

多摩地域（25市1町）では、地元の皆様のご理解とご協力の下、区域外の日の出町にある二ツ塚処分場に焼却灰と不燃ごみを埋立てていました。埋立を続けていた場合、平成25年度には二ツ塚処分場が満杯になる見込みもあり、「二ツ塚処分場の負荷軽減」、「多摩地域のリサイクルの推進」、「安全な埋立対策の一層の推進」を目的として、焼却灰をセメントの原料として全量リサイクルするエコセメント事業を平成18年から開始いたしました。



東京たまエコセメント化施設